

『努力は報われる』

— 理論的・科学的なことを継続する —



高井法博会計事務所所長
TACTグループ関連11社代表

高井法博

能力がある人間が認められるかと言うことは違ふと思う。確かに能力はないよりあった方がよい。

小学校から中学・高校そして実社会で本当に多くの色々な人と出逢った。特に学生時代素晴らしい学力で明るく行動力もあり、常に学年で一〜二番の成績をとっていた憧れの同級生、資格試験等で素晴らしい記憶力で短期間に合格を果たした仲間達、それらの人達が現在実社会において我々が想定していたような活躍をしているかというところではない。能力のある人が認められる比率は百人に一人位であると言われている。とりわけ女性は厳しく、この比率は千人に一人位と言われる。考えて見れば学生時代、常にトップクラスにいたのは女性でありまさにそうだと思うと共に、社会や人類の発展のために全くもったいないと思う。

能力だけでは社会で認められないとしたらどうしたら良いのだろうか？ この一期一会33号で京セラの稲盛会長から教えていただいた、「人生の結果＝熱意×能力×考え方」……成功の方程式について記したが、再度学生時代を思い起こしてほしい。能力はこの内の一つであることを//他の『考え方』が論理的、科学的であると共に、より高い思想・そして前向き・プラス思考である事が絶対条件であり、これに『熱意』が必要である。

当事務所も五百社を超える企業に関与させていたが、能力の他にまさにこの二つの重要性を痛感させられる。
★『努力』は報われる
能力が認められることは百人に一人か場合によっては千人に一人であるが、私は努力は必ず認められ報われると確信している。一度目標を決めたら他人がまだそんな事を

言っているのか//やっているのか!!と、言われても愚直なまでにそれに向かって努力している。しかし、大多数の人はちょっとした努力でそれが達成できないうちがきりまてしまふ。ちょっと位の努力は努力と言えない。それこそ泣きたくなるような、投げ出してしまいたくなる事の連続である。ここで更に一歩気を取り直し頑張り切るかどうかで差がつく訳である。マラソンでも同じで、一定のところまで来ると誰もが苦しくなる。しかしここであきらめては今までの努力は何も実らず徒労に終わる。苦しいのは皆同じでここで頑張るかどうかが差が出る。成功者はこの辺を良く知悉しており、その成功体験をもとに成功哲学を身につけ次々と成功を手中に収めて行く。しかし、そのような大成者は世の中の三割であり、その次の成功者は十割と言い、合計十三割であると統計的に証明されている。どうか、『努力は必ず報われる』と言うことを信じ、人の何倍も認められるまで、成功するまで努力する習慣を身につけてほしい。

★論理的・科学的であること
その努力は理にかなった論理的・科学的なものである必要がある。そうでないとその努力は徒労に終わる。
「世界で最強の企業をあげよ」と言うこと三本の指の中に、半導体の雄である米国のインテル社の名が出てくる。その総帥A・グロープ社長は若二十才で、



土地活用の花形、それがアパート経営です。

アパート経営は節税を図り、確かな収入をお約束します。



ハンガリー動乱を逃れ渡米し、まさに徒手空拳・苦学力行、学歴も金も物も人も何もない中で、それこそ血の滲むような筆舌に尽くせないようなたいへんな努力の末に今日の地位を築かれた素晴らしい経営者である。そのグループ社長が今年来日された。その際の講演、その後の質問会の内容について漏れ聞いたが、卓越した業績、秀でた革新的計画、優れたチームマネージメント、透徹した二十一世紀への展望と、これを成し遂げる強い精神力と努力



は、さすがと思った。ただ努力するだけでなく、その努力が極めて冷静に論理的・科学的に行わなければならないと思知らされた話があった。

それは、グループ社長が最近の『フォーチュン』誌の巻頭記事で「告白した」壮絶な自らの前立腺ガンとの、しかも経営戦略家としての闘いを行っているということである。一九九四年の秋に、前立腺の右側に悪性の腫瘍があることを告げられてから今日まで、通告当

初のショックを乗り越えて経営者としての激務をこなしつつ、闘病記録とその難問解決へのスタンスが、全世界の経営者に大きな関心と感銘を与えている。その概略は、

ガンに対しては素早くトコトン、日常のマネージメント方式を冷徹に採ることが肝心。それには先ず、病状と危険性と致死性の徹底的分析。第二に、既存の文献と名医達からの最新情報の収集。第三に、外科手術、放射線治療などの主要治療法による主要病院ごとの五年後の治癒・再発率の検討。第四に、自分の病状に対応する選択肢の比較研究と意思決定。第五に、処置と実施とアフターケア。この五つを、『スピードをもってなるべく科学的に、この難問に立ち向かうことを旨として……』

この手法は、真にグループ社長の経営に取り組む姿勢と一緒であり、妙な精神論ではごまかさないう「理に叶う」方式で努力される様がよく解る。

★集中し、迅速に、継続して行う

その上で『集中し』『迅速に』行う必要がある。

あらゆる問題や目標等の課題に対してグラフややっていてはいけない。人・物・金の経営資源も、また我々に与えられている時間も無尽蔵にはない。だから、事の重要性をしっかり認識し優先順位を決め、どの方向でいつまでにどう処理しなければいけないかをしっかり掴み、その達成のために経営資源を集中


的につき込む必要がある。

この場合の優先順位の決め方は、『緊急を要する事項』と『重要な事項』を先ず列記し、やりたい・やりたくないではなく大局的に物事を捕らえ、やらねばならない事項を絞り込み『重点優先順位』を決定することとなる。そして、『スピード』もとても重要である。『時間軸』で物事を考え対応できない人はダメである。素晴らしい人・企業は迅速に次々と事を成し遂げて行く。

私自身も色々な問題にぶち当たった。車中はテープを聴き、夜も枕許にはメモ用紙を常備しまさに寝ても覚めても仕事のことを思い、少しでもお客様のお役に立てる事務所を、職員には名誉とプライドが持て少しでも良い待遇ができる組織にしたいと思っている。しかし、現実問題は全くわかってもらっていない、情けなくなることの連続である。何度もう辞めようと思うことの連続であった。

その度に、貧しかった幼少時代を思い、どんな辛い事があっても神様がお与えになった試練であり、私に解決できないような事は神様はお与えにならない。途中で投げ出してしまうたら一生中途半端で終わってしまう。

『継続は力なり』これは私の支えであり、今後色々な問題にぶち当たった時、誰にも負けない努力・気の遠くなるような努力をしようと思う。それは、私自身が生きてきた中で『努力は必ず報われる』と確信するからである。



美容外科・形成外科・整形外科

(医) いちだクリニック

診察時間……AM9:00～12:00・PM5:30～7:30
 休診日……水曜日、祝日、第2・4日曜日
 〒500 岐阜市清本町10丁目18 (従来通り)
TEL<058>253-5911 **FAX<058>252-2481**
 ※JR岐阜駅より2km
 院長 市田正成